



めざす学校像 【学び愛のある学校】	めざす子ども像 【広い心・豊かな考え・たくましい体】	めざす教師像 【学び続ける教師】	めざす家庭像 【帰りたい家庭】
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「責任を果たす学校」 一人一人に確実な力を付ける ◇ 「個性の花開く学校」 一人一人が主役 ◇ 「郷土理解を深め愛情を培う学校」地域に根ざし、心の通い合う学校 ◇ 「開かれた学校」 地域に信頼される学校 ◇ 「安心安全な学校」 安全管理体制が構築され居場所のある学校 	<p>広い心「礼儀正しく思いやりのある子ども」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 礼儀・礼節 あいさつ 言葉遣い 思いやり <p>豊かな考え「よく考え、進んで学習する子ども」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 確かな学力 探求心 表現力 コミュニケーション能力 <p>たくましい体「たくましく粘り強い子ども」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 体力・気力 健康・安全 耐性 目標 根気 勤労 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ わかる・楽しい授業づくりのために不断の努力をする教師 ◇ 子どもを理解し、一人ひとりの可能性を引き出す教師 ◇ 学校経営に参画し、全教職員の協力・協働を追求する教師 ◇ 社会の動向をつかみ、保護者・地域の願いがわかる教師 ◇ 学校・家庭・地域の連携と協働を大切にす教師 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 明るくあいさつを交わす家庭 ◇ 会話のはずむ家庭 ◇ 善し悪しを教える家庭 ◇ 保護者も成長する家庭



一事徹底 『進んであいさつ、元気な返事』	一校一改善 『主体的 対話的 深い学び』	一校一運動 チャレンジランニング
<p>《生活3か条》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 元気なあいさつと返事 ② 整理整頓 <p>※ あるべきものが、あるべきすがたで、あるべきところへ</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 時間を守る(時計を見て、5分前行動) 	<p>【大島モデル】授業充実の3ポイント】</p> <p>ポイント1 【目標の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゴール(身に付ける力)が明確な授業(開始10分以内の導入) <p>ポイント2 【山場の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 思考を深めるための様々な学習活動や指導の工夫がある授業 <p>ポイント3 【確かめ・見届け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分かるようになった・できるようになった実感のある授業《ラスト10分間の充実》 	<p>めざせ徳之島一周</p>

自ら気付き 感じ 行動できる 犬田布っ子					
教育課題	広い心「礼儀正しく思いやりのある子ども」	豊かな考え「よく考え、進んで学習する子ども」	たくましい体「たくましく粘り強い子ども」	特色ある学校づくりの推進	カリキュラム・マネジメントの充実
長期目標	○ 生命や人間尊重の精神をもち、礼儀正しく思いやりのある心豊かな子どもを育てる。	○ 学力を確実に身に付け、意欲的に自ら学ぶ子どもを育てる。	○ 目標をもって健康、体力・気力づくりに励み、ねばり強くがんばりぬぐ子どもを育てる。	○ 郷土と連携した教育活動を推進し、郷土愛に満ちた子どもを育てる。	○ 教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていく。
本年度目標	◎ 人権尊重及び特別支援教育を軸にした教育活動の推進	◎ 「自主的 対話的 深い学び」の実践推進	◎ 一校一運動を核とした、体力づくりの推進	1 世界自然遺産登録に基づく学習活動の推進に努める。 2 地域素材(人・自然・文化・歴史・産業等)の教材化、教育課程への位置付け並びにそれらを生かした体験活動の推進に努める。	1 各教科の内容を横断的に捉え目標の達成に必要な内容を配列する。 2 目的・目標に準じた調査、計画、実践、評価、改善のPDCAサイクルを確立する。
重点課題と具体策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 礼儀正しくはじめがあり、思いやりの心をもった児童の育成に努める。 2) 感謝の心と奉仕・福祉の精神をもった児童の育成に努める。 3) 人権同和教育・特別支援教育の充実(いじめ未然防止策並びに全ての教科・領域における人権同和教育・特別支援教育の視点に立った自己肯定感を高める個別指導・支援の充実)に努める。 4) 指導内容の重点化、豊かな体験の充実、家庭や地域社会との相互連携に配慮した道徳教育を進める。 5) 花いっぱい運動、歌声(鳥唄を含む)の響く学校づくりによる情操教育の推進 6) 本好き女子(読書目標設定及び家庭との連携による)の育成に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 特別支援教育の視点に立った自己肯定感を高める個別指導・支援の充実 2) 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い豊かな学力の育成に努める。 3) 「知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢」育成を目指す資質能力の三つの柱の視点で各教科の「見方・考え方」を軸にした教育課程の見直しを進める。 4) めあてに対する「分かった」「できた」が実感できる振り返り(自己評価)の時間の確立に努める。 5) GIGAスクール構想に基づき(実践交流(タブレット活用)研修の推進に努める。 <p>※「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還を図った指導方法改善研究の深化</p> <ol style="list-style-type: none"> 6) プロジェクト教育推進に向けた情報活用能力の育成 7) 家庭学習の習慣化(家庭学習ガイドの周知・活用の徹底)に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的な生活習慣を確立し、意欲的に体力づくりに取り組み、心も体も健康で、喜気に満ちた教科体育の充実と一校一運動の推進に努める。 2) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解し、健康で安全な生活を送る児童の育成、特にインフルエンザ等の感染防止に努める。 3) 自ら判断し、行動できる子どもを育てる防災・安全教育の取組を推進する。 4) 当面予防指導の徹底並びにむし歯治療受診率100%の達成に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 犬田布の自然・風土を生かした特色ある教育課程の編成を推進する。 食卓・食育活動等の体験活動の充実 2) 犬田布の歴史(犬田布騒動)・文化・人材に学ぶ教育活動を推進する。 鳥唄・鳥口の継承(外部人材の活用、なかよし音楽、学習発表会の内容工夫)、手踊り等の継承 ※ 奄美日本復帰の歴史・風土等との足跡をたどる。 3) 学校行事の適正化を図る。(一行事一改善、時数の適正化、ねらい検討) 4) 幼児教育、中学校教育との円滑な接続を図る。 ※ 学力の課題、生徒指導上の課題、接続に関する課題等合同研修会 	<ol style="list-style-type: none"> 1) チーム学校の確立と校務分掌の機能化 ※ 教育内容や時間の適切な配分、必要人材・物的体制の確立、実施状況に基づく改善 ア 確実な授業実施時数の把握(全学年) イ 学校運営協議会との連携による改善 ウ 郷土教育、キャリア教育、自然体験活動等の充実